

令和4年度
養父市公営企業審議会資料
(第4回)



令和5年2月21日（火）

まち整備部 上下水道課

1. 中間報告の結論について

2. 今後の料金改定に向けて

物価上昇を含めた将来見通し（水道事業）	3
物価上昇を含めた将来見通し（下水道事業）	4
近隣市町との耐震化率の比較	5
法定耐用年数を超過している管路の延伸距離	6
水道未収金の推移	7



養父市イメージキャラクター
やっぶー

物価上昇分を含めた 水道事業将来見通し

	前年度	本年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
収益的 収 支	(1) 料金収入	500	495	486	481	474	468	461	455	448	442	436
	(2) 一般会計補助金	226	24	275	132	103	63	48	36	42	32	47
	(3) その他	172	148	144	136	126	119	112	96	90	88	79
	合計	898	667	905	749	703	650	621	587	580	562	567
費用	(1) 維持管理費	216	225	425	237	237	233	240	239	241	241	244
	(2) 資本費	734	625	582	528	497	471	449	414	411	403	386
	合計	950	850	1,007	765	734	704	689	653	652	644	630
収支差引	△ 52	△ 183	△ 102	△ 16	△ 31	△ 54	△ 68	△ 66	△ 72	△ 82	△ 63	
資本的 収 支	(1) 地方債	157	207	18	62	254	146	360	379	392	360	395
	(2) 一般会計出資金	119	120	1,044	77	66	55	55	45	46	44	41
	(3) 国県補助金	13		3	5	36	22					
	合計	289	327	1,065	144	356	223	415	424	438	404	436
支 出	(1) 建設改良費	179	220	52	68	300	172	400	419	432	400	435
	(2) 地方債償還金	316	326	1,251	266	250	235	226	197	182	163	152
	合計	495	546	1,303	334	550	407	626	616	614	563	587
収支不足額	△ 206	△ 219	△ 238	△ 190	△ 194	△ 184	△ 211	△ 192	△ 176	△ 159	△ 151	
地方債残高	4,121	4,002	2,769	2,565	2,569	2,480	2,614	2,796	3,006	3,203	3,446	

※ 収益的収支：施設の運転・管理など、事業を運営するための経費とその財源
 ※ 資本的収支：施設を建設・整備するための経費とその財源（令和9年度より4億円/年の更新費を計上）
 ※ 資本費：減価償却費と支払利息

【第1回資料（審-24）からの修正点】

- ・令和5年度を予算額に合わせて修正
- ・令和6年度以降は以下のとおり物価上昇を見込んで修正
 動力費、委託料、手数料、薬品費・・・消費者物価指数（生鮮食料品を除く総合）10年間の平均上昇率0.7%を用いて試算
 修繕費・・・国土交通省建設工事費デフレーター 上・工業用水道 10年間の平均上昇率1.8%を用いて試算

物価上昇分を含めた 下水道事業将来見通し

(単位：百万円)

	前年度	本年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
収益的 収 入	(1) 使用料収入	447	432	427	421	416	405	400	395	390	385
	(2) 一般会計補助金	415	384	414	396	385	393	403	422	433	436
	(3) その他	304	304	316	315	314	312	316	342	361	379
	合計	1,166	1,120	1,157	1,132	1,115	1,109	1,114	1,124	1,159	1,184
費 用	(1) 維持管理費	291	315	374	337	339	342	344	348	350	350
	(2) 資本費	849	813	808	811	793	771	775	806	839	874
	合計	1,140	1,128	1,182	1,148	1,132	1,113	1,113	1,119	1,154	1,189
収支差引	26	△ 8	△ 25	△ 16	△ 17	△ 4	1	5	5	△ 5	△ 24
資本的 収 入	(1) 地方債	588	618	633	558	495	338	460	366	362	360
	(2) 一般会計出資金	123	126	127	128	129	103	88	53	17	9
	(3) 国県補助金	168	154	206	131	100	100	100	350	350	350
	合計	879	898	966	817	724	675	541	898	769	729
支 出	(1) 建設改良費	338	358	404	302	237	258	757	731	731	731
	(2) 地方債償還金	906	895	889	888	884	843	650	540	418	403
	合計	1,244	1,253	1,293	1,190	1,121	1,101	1,008	1,407	1,271	1,149
収支不足額	△ 365	△ 355	△ 327	△ 373	△ 397	△ 426	△ 467	△ 509	△ 502	△ 420	△ 415
地方債残高	6,587	6,310	6,054	5,724	5,335	4,948	4,536	4,346	4,172	4,116	4,073

- ※ 収益的収支：施設の運転・管理など、事業を運営するための経費とその財源
- ※ 資本的収支：施設を建設・整備するための経費とその財源（令和9年度までは2億円/年、令和10年度から7億円/年の更新費用を計上している。）
- ※ 資本費：減価償却費と支払利息

【第1回資料（審-30）からの修正点】

- ・令和5年度を予算額に合わせて修正
- ・令和6年度以降は以下のとおり物価上昇を見込んで修正
 動力費、委託料、手数料、薬品費・・・消費者物価指数（生鮮食料品を除く総合）10年間の平均上昇率0.7%を用いて試算
 修繕費・・・国土交通省建設工事費デフレーター 下水道 10年間の平均上昇率1.7%を用いて試算

近隣市町との耐震化率の比較

〈兵庫県内事業体の水道施設の耐震化状況（平成30年度末）〉より

	浄水施設の耐震化状況		
	全浄水施設能力 (m ³ /日) (A)	耐震化浄水施設能力 (m ³ /日) (B)	耐震化率 (%) (B/A)
養父市	17,982	15,161	84.3
豊岡市	72,594	35,983	49.6
朝来市	16,940	3,632	21.4
香美町	14,118	8,104	57.4
新温泉町	8,132	1,800	22.1
穴粟市	20,059	2,291	11.4

	配水池の耐震化状況		
	全有効容量 (m ³) (A)	耐震化有効容量 (m ³) (B)	耐震化率 (%) (B/A)
養父市	14,739	6,983	47.4
豊岡市	38,194	16,586	43.4
朝来市	15,299	3,000	19.6
香美町	10,968	1,703	15.5
新温泉町	6,220	2,932	47.1
穴粟市	17,586	5,482	31.2

	基幹管路総延長 (m)	耐震適合性のある管の延長 (m)	耐震管の延長 (m)	耐震適合率 (%)	耐震化率 (%)
	(A)	(B)	(C)	(B/A)	(C/A)
養父市	96,869	24,176	2,971	25.0	3.1
豊岡市	145,225	23,135	23,135	15.9	15.9
朝来市	45,649	15,838	15,838	34.7	34.7
香美町	43,239	1,023	1,023	2.4	2.4
新温泉町	31,726	4,116	4,116	13.0	13.0
穴粟市	133,585	43,094	9,655	32.3	7.2

※ 養父市水道管耐震化の現状

水道管の耐震化工事はほとんどできておりません。これまでは統廃合事業に伴う管路布設や、配管延長が長い布設替工事の時に耐震管で施工（布設替）しているだけです。

法定耐用年数を超過している管路の延伸距離

【水道管総延長内訳】

配水本管総延長：194 k m

配水支管総延長：198 k m

【法定耐用年数（40年）超過管路の延伸距離】

配水本管：40年～60年＝約12 k m（6.2%）

60年越え＝約7 k m（3.6%）

配水支管：40年～60年＝約15 k m（7.6%）

60年越え＝約12 k m（6.1%）

※ 布設年度が不明な管路がありますが、それをすべて60年以上と考えて

【法定耐用年数（40年）超過管路の内訳】

配水本管	60年以上	7 k m	配水支管	60年以上	12 k m
------	-------	-------	------	-------	--------

内訳	塩ビ管	- k m
----	-----	-------

	ダクタイル鋳鉄管	1 k m
--	----------	-------

	管種不明管	6 k m
--	-------	-------

内訳	塩ビ管	2 k m
----	-----	-------

	ダクタイル鋳鉄管	1 k m
--	----------	-------

	管種不明管	9 k m
--	-------	-------

配水本管	40～60年	12 k m
------	--------	--------

配水支管	40～60年	15 k m
------	--------	--------

内訳	塩ビ管	2 k m
----	-----	-------

	ダクタイル鋳鉄管	10 k m
--	----------	--------

	その他の管	- k m
--	-------	-------

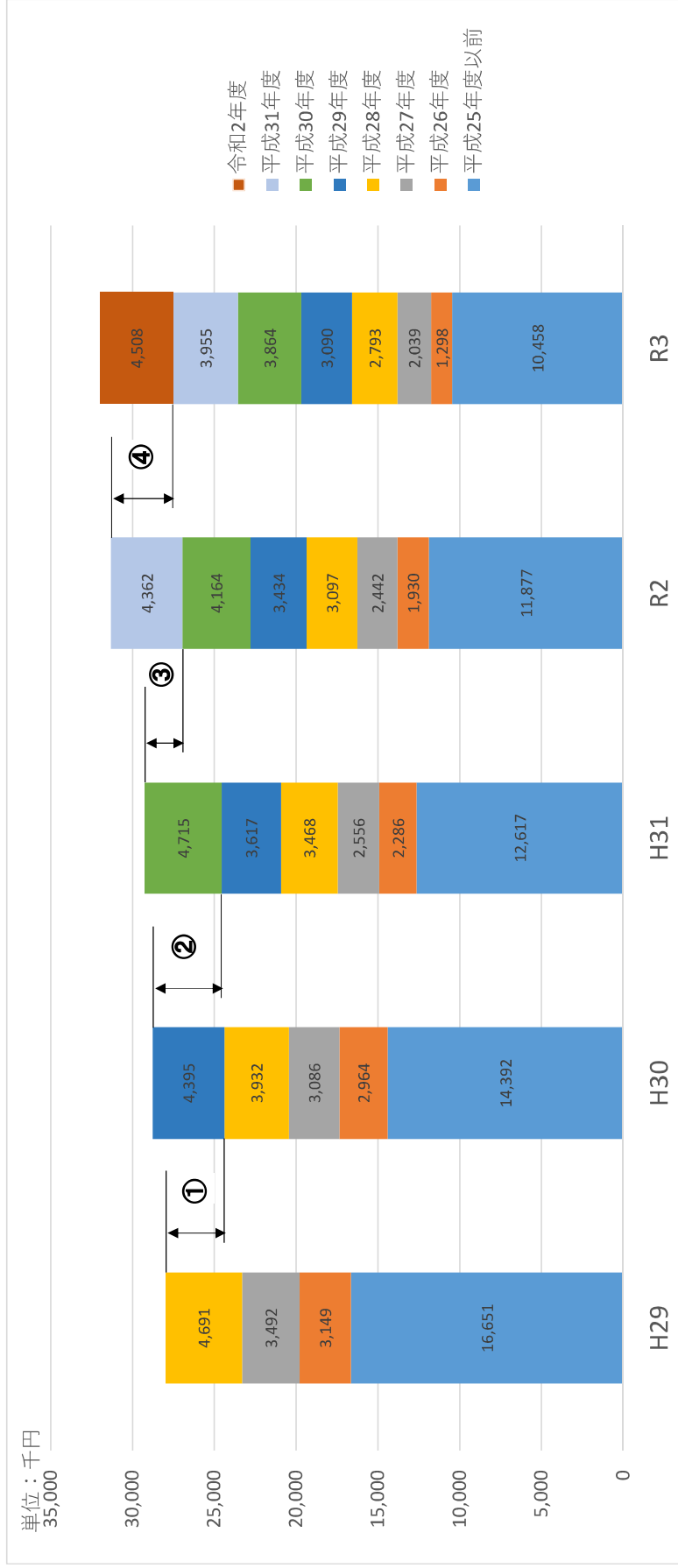
内訳	塩ビ管	8 k m
----	-----	-------

	ダクタイル鋳鉄管	6 k m
--	----------	-------

	その他の管	1 k m
--	-------	-------

※ 耐用年数を越えた配管にはポリエチレンスリーブを巻いたものではありません。

水道未収金の推移



各年度の過年度滞納分を徴収した金額

年度	①	②	③	④	過年度収入
H29-H30	4,691	3,492	3,149	16,651	3,610,410円
H30-R1	4,395	3,932	3,086	14,392	4,225,670円
R1-R2	4,715	3,617	3,468	12,617	2,313,996円
R2-R3	4,362	4,164	3,434	11,877	3,807,197円

- ・漏水による減免等によりグラフの数値の変動額と過年度収入額は異なります。
- ・滞納分の徴収のほか滞納者の所在不明等の回収不可能な未収を不納欠損として処理しています。